

センター調査交付済み7事例における交付までの状況

➤ 交付事例数：7事例

事例	手続き		調査			合計所要期間
	申請	← 期間 →	第1回部会	← 期間 →	交付	
1	2016/1/29	約8か月	2016/10/3	約1年4か月	2018/1/29	2年
2	2016/6/15	約4か月	2016/10/11	約8か月	2017/6/22	約1年
3	2016/6/27	約5か月	2016/11/21	約1年1か月	2017/12/22	約1年6か月
4	2016/7/7	約5か月	2016/12/21	約1年4か月	2018/4/6	約1年9か月
5	2016/7/15	約7か月	2017/2/13	約1年	2018/2/8	約1年7か月
6	2016/7/15	約5か月	2016/12/27	1年7か月	2018/7/31	約2年
7	2017/2/23	約8か月	2017/10/17	約10か月	2018/8/30	約1年6か月
		平均 約6か月*		平均 約1年		平均 約1年6か月

※院内調査結果待ち時間を含む

➤ 「センター調査・報告書作成マニュアル」改訂の推移

○Ver2.0 (2017年5月9日版)

- 調査方法の統一化
 - ・場面・診療プロセスに分けて検証分析を行う

○Ver3.0 (2018年1月10日版)

- 院内調査とセンター調査の関係について明確化
 - ・センター調査と院内調査は、それぞれが尊重される。
 - ・総合調査委員会と個別調査部会は、権限等の上下関係はなく（対等の立場）、双方の意見を尊重し、必要な部分を補完する。
- 調査結果が異なった場合はその根拠を特に丁寧に記載する。
 - ・院内調査とセンター調査の結果比較のため、「比較表」を導入する。

○Ver3.1 (2018年3月5日版)

- 検証結果の記載方法の統一化
 - ・原則、「一般論」「事実」「検証結果」という構成で記載する。

➤ トレーニングセミナーによるマニュアル周知

- ・平成27年度（2016年2月20日） 「センター調査報告書の作成の手引き」を共有
- ・平成28年度（2017年2月18日） 「マニュアルVer2.0（案）」を共有
- ・平成29年度（2018年2月23日） 「マニュアルVer3.0」を共有

センター調査 個別調査部会 (67事例) 学会別 委嘱状況

H30.8.24現在

No	日本医学会・その他の専門学会	人数
1	日本アレルギー学会	1
2	日本医学放射線学会	33
3	日本感染症学会	14
4	日本肝臓学会	2
5	日本救急医学会	15
6	日本外科学会	63
7	日本血液学会	6
8	日本血管外科学会	6
9	日本呼吸器学会	13
10	日本呼吸器外科学会	4
11	日本産科婦人科学会	15
12	日本耳鼻咽喉科学会	4
13	日本集中治療医学会	2
14	日本循環器学会	17
15	日本消化器外科学会	20
16	日本消化器病学会	15
17	日本小児科学会	5
18	日本神経学会	5
19	日本腎臓学会	5
20	日本心臓血管外科学会	13
21	日本整形外科学会	10
22	日本精神神経学会	2
23	日本透析医学会	1
24	日本内科学会	66
25	日本脳神経外科学会	16
26	日本泌尿器科学会	5
27	日本病理学会	26
28	日本麻酔科学会	27
29	日本老年医学会	3

No	歯科	人数
30	日本歯科医学会連合	2

No	薬剤	人数
31	日本医療薬学会	3

No.	医療関係関連学会・団体	人数
32	医療の質・安全学会	9
33	日本診療放射線技師会	1
34	日本臨床工学技士会	3

No.	日本看護系学会協議会 関連学会	人数
35	日本がん看護学会	3
36	日本看護科学学会	14
37	日本看護管理学会	15
38	日本看護技術学会	2
39	日本救急看護学会	3
40	日本クリティカルケア看護学会	11
41	日本在宅ケア学会	1
42	日本手術看護学会	10
43	日本精神保健看護学会	1
44	日本小児看護学会	1
45	日本助産学会	7
46	日本老年看護学会	3

No.	協学会以外	人数
47	日本血栓止血学会	1
48	日本脳卒中学会	1
49	日本臨床腫瘍学会	3

合計	508
----	-----